

生活科学習指導案

平成20年6月4日(水)第2校時
1年1組 (17名)

授業の視点

形や大きさなど生長の仕方についての視点を持ってあさがおを観察したことは、あさがおの生長の様子に気付き、生長への思いや願いを深めるために効果的であったか。

I 単元名 そだてよう さかせよう 1

II 考察

1 児童の実態 (略)

2 教材観 (略)

3 教材の系統 (略)

4 校内研修とのかかわり

生活科では昨年度から、校内研修の「考える力を育てる」手立てとして、体験活動で得た気付きを振り返り、考えを交流する活動を意図的に取り入れ、気付きを高める授業改善に取り組んできた。

本単元では、植物の栽培、特に一人一鉢のあさがおの栽培を取り上げる。今までにも栽培の経験を持っている児童が多いが、自分の手で種から育て、継続的な世話や観察をしながら花を咲かせるといった経験をもっている児童は少ない。このような児童に、観察というあさがおを一人一人がじっくりと見つめる場を設定し、世話の仕方を工夫をしていくような活動を取り入れれば、その中で生き物の不思議さやおもしろさを実感し、科学的な見方や考え方の基礎を培うことができると考える。振り返りの場を生かすことにより、友だちの活動を参考にしたり、自分の活動の良さを確認したりするなど、新たな気付きを見出したり問題解決的な学び合いの学習ができ、児童一人一人が、生き物との適切なかかわり方を考える学習活動につなげることができるものと考えている。

5 指導方針及び学習活動の支援

- ・花の種や花の写真、栽培に関する本を教室に置いておくことにより、栽培活動に関する興味や関心が持続するようにしたい。
- ・自分のあさがおに名前をつけ、マイあさがおとして責任を持って長期的な世話や観察ができるようにしたい
- ・10日に1度程度、朝の会や帰りの会で2～3人ずつ順番であさがおの生長を発表する機会を設け、栽培への意欲が長続きするようにしたい。
- ・「花が咲いたら〇〇したい。」と一人一人に思いをもたせながら活動をすすめ、興味関心を継続させたまま、「そだてよう さかせよう 2」につなげていきたい。
- ・植物の生長で大きな変化があったときに観察カードをかかせ、後の振り返りで活用したい。
- ・観察したことの記録は、絵や文などで自由に表現させるが、文がうまく書けない児童については教師が支援を行い、児童の満足がいく表現ができるようにしたい。
- ・五感を使うとより良い観察ができることを確認し、知的な気付きができるようにしていきたい。
- ・観察をする際には、形・数・大きさ・長さ・色などの視点をもたせることで、植物の生長や変化への気づきを深めていきたい
- ・植物の成長に適した環境作りを、自分の生活に置き換えて考えさせるようにすることで、具体的な世話の仕方を工夫させていきたい。
- ・発芽したり、開花したことをみんなで喜ぶことで、植物への思いを深めさせるようにしていきたい。
- ・観察カードを振り返ることで、それまでの活動のがんばりと自分自身のよさに気づかせていきたい。
- ・あさがおの成長の喜びと自分自身の成長を重ね合わせ、生命の大切さを感じさせていきたい。

- ・ペットボトルじょうろに絵を描く（図工科）、成長の様子や気持ちを文に書く（国語科）、「自然愛と動植物愛護」「感動と畏敬」の価値の主題設定（道徳）などにより、他教科・領域と関連させて学習を進めていきたい。

Ⅲ 単元の目標、評価基準と評価計画（10時間予定：本時はその7時間目）

評価項目の下線部（~~~~~）は、十分満足できる状況を表す。

単元の目標		評 価 規 準			
		関心・意欲・態度	思考・表現	気づき	
・植物を育て、それらの変化や成長の様子に関心をもち、親しみをもって大切に世話をすることができる。		・自分で育ててみたい植物を決め、成長を楽しみながら、親しみをもって進んで世話をしようとしている。	・植物の変化や成長の様子に合わせて水や肥料など世話の仕方を考えながら適切にかかわったり、成長の様子や成長への喜びなどを表現したりすることができる。	・植物の変化や成長の様子に気付くとともに、適切な世話をすることで植物も自分と同じように成長していくことや、世話をした植物が成長することの喜びや楽しさに気付いている。	
小単元	学 習 活 動	時 間	評価の観点 関 心 意 欲 態 度	評価項目 (評価方法)	主な支援
たねまきしよう	・いろいろな花の種を観察し、育てたい花を決め、種のまき方を調べる。	1	○	○花に関心を抱き、 <u>自分が育てることを考えて意欲的に植え方や育て方を調べたりしている。</u> (行動観察・観察カード)	・花の種類にあった種のまき方を知らせる。 ・いろいろな花の種や写真を用意し、栽培活動への意欲付けを行う
	・あさがおの種まきをする。	1	○	○適切な種のまき方や土作りが大切であることを考えて、 <u>自分で確かめながらまいている。</u> (行動観察)	・全員の同時期の発芽が可能になるよう、市販の栽培セットを用意しておく。
	・種まきの様子を観察カードに記録する。	1	○	○種まきをしながら気付いたことを <u>たくさん絵などで表したり教師に話したりしている。</u> (観察カード、発言)	・五感を使うとより良い観察ができることを確認する。
	業前活動			(木曜日の登校時～始業) 学級園へのあさがお以外の花の種まき。	・事前に学級園を耕しておく。
がっきゆうえんのなえうえ	・利根実業高校の生徒との交流を通して、苗の植え方を知る。	1	○	○いろいろな植物に関心を寄せ、 <u>成長したときの様子を楽しみにしたり植え方の手順を気にしたりしながら話を聞いている。</u> (行動観察、つぶやき)	・自分から進んで高校生とかかわったり、苗の植え方を教えてもらおうとする意識を持たせる。
	・学級園にサツマイモの苗を植える。	1	○	○自分の鉢に種をまいたことを思い出し、 <u>種ををまいた経験を生かしたり自分なりに工夫したりして苗を植えている。</u> (行動観察)	・安全にも留意させながら活動を行えるようにする。
まいにちせわ	・発芽したあさがおの様子を観察する。	1	○	○植物の成長に関心をもち、 <u>植物への愛着を表しながら進んで観察したり世話したりしている。</u> (観察カード、行動観察)	・発芽した喜びを記録させることで、今後の活動の意欲付けをはかる
	・生長してきたあさがおの様子を観察する。	1 本 時 	○	○植物に生命があることや生長していること、 <u>生長に合わせた適切な世話の仕方があることに</u> 気付いている。 (観察カード、発言)	・形・数・大きさ・長さ・色などの視点をもたせて観察させることで、植物の生長や変化への気づきを深めていきたい。

しよう	<ul style="list-style-type: none"> つぼみのついたあさがおの様子を観察する。 	1		○	<p>○植物の成長に合わせた世話をするとともに、植物の変化や成長の様子、<u>世話の仕方</u>などを話したり観察カードに表現したりできる。(観察カード、発言)</p>	<ul style="list-style-type: none"> あさがおの生長だけでなく、世話の仕方なども表現できるよう声かけを行う。
業前活動					<p>(登校時～始業、休み時間) 水やり、追肥、支柱立てなどの世話、学級園の草むしりなどを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 毎日継続して世話が行えるよう、朝の会や帰りの会で声かけを行う。
たくさんはなをさかせよう	<ul style="list-style-type: none"> 花の観察をする。 	1		○	<p>○開花の様子を絵や文で表すことなどによって、花の咲き方や花のつくり、<u>自分が育てた花と友だちの花や他の花との違い</u>などに気付いている。(観察カード、発言)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 五感をはたらかせて記録できるようにする。 友だちの記録と比較することにより、違いに気付いていけるようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> 大きくなった花の世話のしかたを考える。 	1		○	<p>○これからどんな世話をしていけばよいか、<u>いろいろ</u>考えることができる。(発言)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 知っていることを発表させたり、本で調べさせたりする。

IV 本時の学習

- 1 目標 形や大きさなど生長の仕方についての視点をもってあさがおを観察することで、あさがおの成長の様子に気づき、生長への思いや願いを深めることができる。
- 2 準備 教師：あさがおの生長を記録した写真、前時の児童の観察カード、新しい観察カード
児童：自分のあさがおの植木鉢
- 3 展開 評価項目の下線（~~~~~）は十分満足を表す。

学習活動	時間	支援及び指導上の留意点	評価項目・方法
1. 生長する順にあさがおの写真を並び替え、生長の様子について話し合う。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・発芽前、発芽直後、双葉が開いた頃、本葉が生えてきた頃の写真を生長の順番に並べさせ、なぜその順番に並べたのかを問うことで、視点（形、大きさ、数、くきの長さ、色等）をもって観察することを意識できるようにする。 ・前時までの子どもたちの一生懸命観察する姿や、丁寧な観察カードの記述、あさがおを大切に水やりする姿を紹介することで、望ましい観察の仕方やあさがおのかかわり方を意識できるようにする。 	
2. あさがおの観察をする。 ◇予想される児童の反応例 ①本葉と双葉の形を区別してかいている。 ②葉の大きさの違いを区別してかいている。 ③葉の数を意識しながらかいている。 ④茎の長さを意識しながらかいている。 ⑤葉や茎の色を意識しながらかいている。 ⑥生長の順序を意識しながらかいている。 ⑦観察したことから、自分なりの問題意識を持つことができている。 ⑧観察したことから、世話のしかたを考えることができる。 予想される児童の姿 C1：何をかいて良いのかわからない。 C2：生長や変化に気付かない。 C3：絵が苦手であまり表現できない。	25分	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のあさがおの鉢を観察して気付いたことを、絵や文で自由に表現させる。 ・文で表現したくてもうまく書けない児童については、教師が代筆してやるなど、表現の手助けをする。 ・前時に比べて、観察の視点が増えたかどうか配慮する。 ・五感を使って観察するように促す ・生長や変化の様子から、どんな世話をしていたら良いのか考えていけるよう声かけをする。 (声かけ例) <ul style="list-style-type: none"> ・「なんだか、茎が長すぎてぐらぐらするね。」 ・「植木鉢に葉っぱが多すぎて、満員になっちゃたね。」 ・「大きくなったけど、あさがおの栄養は足りてるかな。」 支援例 C1：友だちの観察の様子を参考にさせる。 C2：観察の視点を再度示唆する。 C3：言葉（文章）による表現を支援する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">気付き</div> ○植物に生命があることや生長していること、生長に合わせた適切な世話の仕方があることに気付いている。 （観察カード、発言）
3. 本時の学習を振り返る。	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返り、今日気付いたこと、感じたことの大切さを強調する。 ・あさがおの気持ちを想像させることで、あさがおへの愛着を高めるとともに、あさがおの観察や世話への意欲を高めるようにする。 	

